

4-2 ローカルベンチャーによる大型檻での捕獲と利活用のビジネスモデル構築

研究機関名 エーゼロ株式会社

要約

- 従来から、一次産業であるジビエ事業単体では、収益を上げにくいという課題があった。
- そこで、獣害対策用に開発された大型檻ホカクンを活用し、ツーリズムを試みた。
- 結果、ツアー体験者にも好評で、大幅な収益アップにもつながった。また、丁寧に説明する事で、当初懸念された、一側面だけを切り取った「残酷だ!」などの批判も見られない事がわかった。
- 今後、企業向けのツアー、家族向けオンラインツアーなどで、ホカクンを見せ、地域の課題とともに体験をしていただく予定である。

開発したツアー概要（日帰りコース）



1) 下草が鹿に食べられて、更新ができていないブナ、ミズナラを主体とした原生林をトレッキング



4) 実際に止め刺しも見てもらったが、冷やかしたりする人は見られなかった。



2) 下草が鹿に食べられ、林床が不嗜好性植物であるミツマタ、マツカゼソウばかりになった人工林（スギ、ヒノキ）を案内



5) 解体を体験



3) これらの課題解決のために開発されたホカクンで、狩猟場面を体験



6) ジビエBBQを体験。森の生態系の一部になるイメージで。(写真は、お客様の目を引くように開発したマンガ肉)